

# スワーミ・ムクターナンダの言葉についての瞑想

## イースターを祝うシッダ・ヨーガ・サツツァング

### イーシャ・サーデサイ

#### 人生への感謝

イースターを祝うシッダ・ヨーガのサツツァングの場で朗読された『プレイ・オブ・コンシャスネス』の一節では、バーバ・ムクターナンダは死期が近づいていたある聖人の物語を語っています。その一節の冒頭で、バーバは次のように書いています。

[その聖人は]自らの死の時を知り、その時が来ると、皆を自分の周りに集めて祝福と許しを乞い、そして感謝を述べた。その後、四方向に、五大元素に、そして英知を与えてくれたグルにお辞儀をした。<sup>i</sup>

この描写にはとても心を打たれます。死が近いと知った際に選んだ行動から、その聖人について、そして彼がどのように生きたかについて、多くのことが読み取れると思います。彼は自分の運命を嘆くこともなく、この世を去る前に慌ててできる限りを見たりやったりしようと時間との競争に駆り立てられることもありません。彼は最期の瞬間を使って感謝を伝えます。私にとってこれは、聖人が真の、そして永続する内側の満足を得ていたこと、自らの人生に安らいでいたことを示しています。また、彼の深い謙虚さも表しています。

どうにも私には、この聖人の人生がずっと「順風満帆」だったとは思えません。聖人たちの生涯について——ほとんどの伝統において——読んだことのある人なら、それが極めてあり得ないことだと分かるでしょう。『プレイ・オブ・コンシャスネス』の

中でバーバは、インドを旅する中で出会った本当に多くの聖人が、外見上はほとんど何も持っていなかったと語っています。例えば、偉大なシッダであるジプルアンナは「村人たちから離れた、おんぼろの家や小屋」<sup>ii</sup>に住んでいたと、バーバは述べています。全知の聖人ハリ・ギリ・バーバは、高級な服をいろいろと身に付けていましたが、その一方で川岸をさまよいながら日々を過ごし、周りの人に声を掛け、何か食べる物を分けてもらえないかと頼むことで食事を得ていました。<sup>iii</sup>

このサムサーラ、この世俗の海に、人間であるというだけで、バーバがこの箇所では語る聖人は数々の困難に直面したのでしょうか。ましてや、彼独自の人生の歩みによって生じたかもしれないさらなる試練は言うまでもありません。しかし、彼の言葉には、恨みも、特権意識の気配も全くありません。

私たちはここから学ぶことができます。人生に対する要求、人生に期待する特定の見え方や感じ方を手放せば、この世界が与えてくれる豊かさを体験できる可能性が高まると私は信じます。私たちはこの宇宙の物質、その独自の元素の組み合わせから生まれました。やがて、私たちは再びそれらの元素へと溶け込んでいきます。その間に起こるすべて——この輝かしくも、山あり谷ありばかりの不可思議な人生——を、贈り物として捉えたらどうでしょうか？ 約束としてではなく、私たちに対する支払いでもなく、機会として捉えたらどうでしょうか？ これは、イースターを祝うサツァング以来、私がずっと考えてきたことであり、最近シッダ・ヨーガの道のウェブサイトに掲載されたバーバの物語「The Value of a Human Birth (人間として生まれることの価値)」を再読してから、なおさらその考えが深まっています。

グルマーイは、著書『Courage and Contentment (勇気と満足)』の中で、「あなたは大地を軽やかに踏んでいますか、それとも重々しく踏んでいますか？」<sup>iv</sup>と問い掛けています。私はこの問いについてよく考えます。そして、それは私自身やあなたに、さらに多くの問いを投げ掛けるよう促すのです。

あなたは、人生における人々、場所、状況、大小さまざまな物事に対して、どのように感謝を表していますか？春の息吹を吸い込むひとときを——この素晴らしい季節の生き生きとした香りにあなたの細胞の隅々まで清めさせるひとときを——作りましたか？



© 2026 SYDA Foundation®. 著作権所有。

---

<sup>i</sup> Swami Muktananda, *Play of Consciousness: A Spiritual Autobiography*, 3rd ed. (S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 2000), p. 270. 日本語版『プレオ・オブ・コンシャスネス』p284

<sup>ii</sup> Swami Muktananda, *Play of Consciousness*, p. 122. 同p147

<sup>iii</sup> Swami Muktananda, *Play of Consciousness*, p. 112. 同p138

<sup>iv</sup> Gurumayi Chidvilasananda, *Courage and Contentment: A Collection of Talks on Spiritual Life* (S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1999), p. 4.